



生駒市立鹿ノ台小学校

# 鹿小だより

令和 4年 12月 2日

第 17 号

## <電波の不思議に迫る>

電波適正利用推進員の3名の方に来ていただき、電波について5年生が勉強しました。テレビ、ラジオ、携帯電話、電子レンジ、時計、ミマホルメ(登下校防犯システム)など、自分たちの身の回りにある多くの物で電波が利用されています。たくさんありすぎて、気付かずに過ごしている自分自身に、5年生は驚いたようでした。



生駒山だけではなく、学校の周りの家にも電波塔があることに気付きました。アマチュア無線の電波塔だと教えていただきました。



## <SOS の出し方についての学習をしました>

11月17日(木)にスクール・カウンセラーの八木先生が、6年生全学級に1時間の授業をされました。初めに子どもたちは自分の「心のもやもや度」をチェックします。もやもや度の高い子どもが随分おり、びっくりしました。それから、もやもやを解消するために、どんなことをしているのかを発表し合います。習い事に打ち込む、ペットと戯れる、空を見る、歌を歌う、口笛を吹く、チョコレートを食べる、毛布にもぐる、独り言を言う、こたつに入るなど、自分以外の人のもやもや解消法を知り、興味津々でした。しかし、解消法として、学校を休む、ぬいぐるみを殴るという方法をとっている子どももあり、少し心配です。また、大切な授業ですが、終始ふざけてワークシートに不謹慎な内容を書き込んでいる子どもがおり、ここにも子どもたちの現在の心の荒れが出ているように思われますので、保護者と連絡を取るようになっています。

そして、授業終盤には、心が苦しそうな友だちを支えるときの合言葉を確認し合いました。合言葉は「きょうしつ」です。『㊦気付いて、㊧寄り添い、㊨受け止めて、㊩信頼できる大人に、㊰つなげよう。』…心が苦しいときこそ、周りの人に助けを求めましょう。苦しさを分かってくれる人や場所がきっとあるはずですよ。なお、スクール・カウンセラーへの相談は、担任の先生までお願いします。

## <1-3 の算数の授業を公開しました>

11月17日(木)に1年3組で算数の公開授業を行いました。子どもたちが勉強しているのは、繰り下がりのあるひき算です。繰り下がりのあるひき算がきちんと理解できていないと、筆算の割り算がなかなか理解できず、算数嫌いを引き起こす原因になると言われています。

1年3組の児童は、自分の計算の仕方をグループの友だちに伝えようとしていましたが、自分では分かっているのに、他人に伝えることはなかなか難しく、友だちを納得させられるような説明ができません。しかし、授業の終わりには、友だち同士で拍手が起こるほど素晴らしい伝え方をした子どもがいました。

## <バイオリンコンサート>



11月21日(月)にバイオリンコンサートを行い、6年生が鑑賞しました。演奏して頂いたのは、鹿ノ台在住のバイオリニスト 齊藤清 さん、ピアニスト 土居由枝 さんです。齊藤さんには毎年、クラシックのバイオリン演奏を披露して頂いています。

最初の3曲は、「愛のあいさつ(エルガー)」「美しきロスマリン(クライスラー)」「タイスの瞑想曲(マスネ)」で、子どもたちは「どこかで聴いたことがある曲だなあ。」と思ったに違いありません。そのほかには「ロマンス第2番へ長調 op50(ベートーベン)」「アンダンテカンタービレ(チャイコフスキー)」「バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章(フランク)」も演奏されました。耳が聞こえなくなったベートーベンが苦悩の中で作曲したことや、チャイコフスキーはロシア人だけでも、ウクライナで過ごすことも多かったこと等、曲に秘められた思いや歴史も知ることができ、有意義な時間でした。

「どんな気持ちでバイオリンを弾いておられるのですか。」という子どもからの質問に、齊藤さんは「聴く人を感動させようと思って弾いています。」と答えられました。また、「ビブラートはどうやって弾きますか。」という専門的な質問には、非常に驚かれていました。

子どもたちは先日、和太鼓を鑑賞しましたが、今回のようなバイオリンの生演奏を聴いたことがある児童はほとんどいません。だから、このコンサートは、子どもたちにとって非常に貴重な体験になりました。

